## 大規模授業で学生が主体性を持ち、 協働して学ぶ授業の提案

一経済倫理教育でのグループワークの活用ー

福岡大学教授(経済学部・大学院経済学研究科) 山﨑 好裕

#### 福岡大学でのアクティブラーニングの取り組み

- 教育開発支援機構での研究と教員向け講習会の開催。
- ・アクティブラーニング型授業支援制度(2017年度より)。
- ・クリッカーアプリ「レスポン」の全学での導入(2018年度予定)。
- 他学と同様、少人数授業では問題なく可能なアクティブラーニングを、大人数授業で実施するのが私の課題。
- 大人数授業のうち、知識定着型授業はクリッカーアプリの導入で 技術的に対応できる。
- 今回は、課題解決型授業をいかにして大規模授業で実施するかを 提案したい。

#### 総合系列科目「企業犯罪と経済倫理」

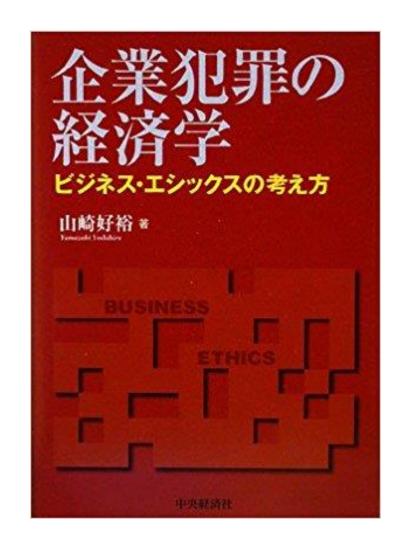
• 1年次を中心に、法学部を除く8学部の学生がすべて受講できる 共通教育(教養)科目。

・今年度の受講生は130名と比較的大規模(久しぶりに再開したが、以前は600名の受講者がいたこともある。)。

「被害者にも加害者にもならないために」をスローガンに、将来企業社会に出ていく学生たちに、身を守る知識と倫理観を身に着けさせることを目的にしている。

## 前半は8回は座学

- 1. 企業犯罪の分類と経済倫理の考え方
- 2. 専門職業人と会社経営をめぐる犯罪
- 3. 証券取引をめぐる犯罪
- 4. 金融をめぐる犯罪
- 5. 独占をめぐる犯罪
- 6. 消費者保護をめぐる犯罪
- 7. 権利保護をめぐる犯罪
- 8. 監査とCSR**の**考え方



#### 後半7回はグループワーク

- アンケートを実施し、興味・関心、学部・学年が混在するように10グループに分ける。
- 課題を与え、グループごとにその解決策をまとめてプレゼンテーションを行う。
- プレゼンテーションを点数評価し、個人の成績はグループ内の 貢献度についての相互評価で案分する。
- ・担当は経営コンサルタントの眞嚊守正氏。

# グループワークの光景(1)





まず、アンケートに基づいたグループ分けを発表し、課題 を指示します。

# グループワークの光景(2)





学部・学年がバラバラなので、まずは自己紹介を行い、リーダー、 サブリーダーなどを決めます。

# グループワークの光景(3)





グループワークの課題は、①神戸製鋼所について調べる、②富士フィルムと比較する、③自分たちが考える理想のCSRを提案する、に決まりました。

# グループワークの光景(4)





ゲストスピーカーの松崎宏史さん(株式会社Studio Kura代表)と有坂哲さん(元南米FC所属プロサッカー選手)です。

#### 今後の方向性

- 現在は、前述の支援制度の予算を利用して、後半のグループワーク時にゲストスピーカーを招いて話してもらっているが、ネット上のフォーラムを作り、より多くの専門家と学生が直に討議できる場を構築したい。
- ・やはり支援制度の予算を利用して、上位学年の学部学生にグループワークの指導補助をしてもらっている。授業時間外もSNSを通じた支援をしているが、指導も上記のフォーラムを使って行える態勢にしたい。
- クリッカーアプリを使って、座学のケーススタディについて、 学生から授業中にダイレクトに意見を集めたい。